

令和8年度地域おこし協力隊サポート事業の企画提案に係る質問及び回答

No	質問対象	質問内容	回答
1	業務内容	<p>□仕様書</p> <p>4 委託業務の内容</p> <p>(1) 市町村ヒアリング調査</p> <p>ハ 発注者との協議により、本仕様書4 (3) イで定める地域おこし協力隊サポート窓口運営体制に配置する地域おこし協力隊経験者を同行させること。</p> <p>なお、同行する市町村数は10程度を目安とする。</p> <p>について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意図といたしましては、ヒアリングの段階で自治体の状況を地域おこし協力隊経験者の経験者目線で理解するため、地域おこし協力隊経験者と自治体、支援団体との連携や活躍の場の提供のような目的となりますでしょうか。 ・地域おこし協力隊経験者が同行する市町村数は、10程度は最低限実施が必須ということでしょうか。 ・同行に際する人件費の発生、関係づくりの背景を踏まえたボランティア等の仕組みに関しては、当方の企画提案にて設計させていただいてよろしいでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊サポート窓口運営体制に配置する地域おこし協力隊経験者を市町村ヒアリング調査に同行させることは、同行を通じて当該地域おこし協力隊経験者が各市町村の状況を把握し、関係者に認知してもらうことで、相談対応業務の円滑化や現役隊員がサポート窓口を活用しやすくすることを目的としています。 ・同行する市町村数に下限はありませんが、上記の目的を達成するために、提案者が対応できる範囲内の同行市町村数を提案書に記載してください。 ・同行に係る人件費や仕組み等も含め、企画提案してください。